

千里ライフサイエンスセミナーV2  
『発達障害の病態解明へ：基礎と臨床をつなぐ研究最前線』

1. 日時：2023年7月20日（木）10：30～16：20（WEB配信併用）

2. 場所：千里ライフサイエンスセンタービル 5F 山村雄一記念ライフホール  
（大阪メトロ御堂筋線・北大阪急行 千里中央駅 北口すぐ）

3. コーディネーター

川人 光男 国際電気通信基礎技術研究所（ATR）脳情報通信総合研究所 所長

石田 綾 理化学研究所 脳神経科学研究センター 脳発達病態研究チーム チームリーダー

4. 開催趣旨：

自閉スペクトラム症を代表とする発達障害は、社会的コミュニケーションの困難、限定的な興味やこだわり行動を特徴とし、約100人に1人に認められるとされる。頻度が高く増加傾向にあるため、病態を理解し支援につなげることが、ますます求められている。本シンポジウムでは、発達障害の病態に迫る基礎・臨床研究の最前線を紹介する。動物・細胞モデルから得られた基礎的知見と、大規模データベースの構築と人工知能技術の適用も含めて、臨床現場から明らかになった最新知見を紹介し、残された今後の課題についても議論したい。

5. プログラム(演題および演者)

10:30-10:35 挨拶

審良 静男 千里ライフサイエンス振興財団 理事長

10:35-10:50 はじめに

川人 光男 国際電気通信基礎技術研究所（ATR）脳情報通信総合研究所 所長

10:50-11:30 「マウス・細胞モデルからの発達障害の病態解明」

内匠 透 神戸大学大学院医学研究科 生理学分野 教授

11:30-12:10 「発達障害の理解に向けて：分子と行動を繋ぐアプローチ」

石田 綾 理化学研究所 脳神経科学研究センター 脳発達病態研究チーム  
チームリーダー

－昼食－

13:20-14:00 「マウスにおける養育・社会行動のオキシトシンによる制御」

宮道 和成 理化学研究所 生命機能科学研究センター

比較コネクトミクス研究チーム チームリーダー

14:00-14:40 「脳回路マーカーからみる発達障害：疾患横断性と異種性の理解に向けて」

橋本 龍一郎 東京都立大学人文社会学部人文科学研究科 教授

昭和大学発達障害医療研究所 客員教授

－休憩－

- 14:50-15:30 「社会的コミュニケーションの障害の分子病態解明と治療薬開発」  
山末 英典 浜松医科大学精神医学講座 教授
- 15:30-16:10 「発達障害の病態解明を目指して  
～自閉スペクトラム症（ASD）の臨床からみえてくるもの～」  
加藤 進昌 公益財団法人神経研究所 理事長、東京大学・昭和大学名誉教授
- 16:10-16:20 おわりに  
石田 綾 理化学研究所 脳神経科学研究センター 脳発達病態研究チーム  
チームリーダー

\*会終了後、交流会（名刺交換会）を開催します。是非、会場にお越し下さい。

6. 参加費：無料
7. 定員：100名（WEB 配信500名）要事前申込
8. 申込方法：参加希望者は、当財団のホームページの「参加申込・受付フォーム」から  
7月17日(月)までにお申込み下さい。  
<https://www.senri-life.or.jp>  
定員になり次第締め切ります。  
参加予定者には、「参加証」を送付します。また、WEB参加者には開催日前に参加  
方法をお知らせします。
9. お問い合わせ：公益財団法人 千里ライフサイエンス振興財団  
セミナーV2事務局 担当 日下部 治夫  
E-mail: dsp-2021@senri-life.or.jp (TEL : 06-6873-2006)

セミナーの詳細や変更等につきましては、下記の財団 web site にて随時ご案内しておりますのでご覧下さい。(財団 web site : <https://www.senri-life.or.jp>)